

スプリンクル(凍結防止) 施工・取扱説明書

対象製品番 G16TS

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用下さい。

- お客様へ
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管して下さい。
- 工事店様へ
施工後、この説明書をお客様へお渡し下さい。

施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明して下さい。

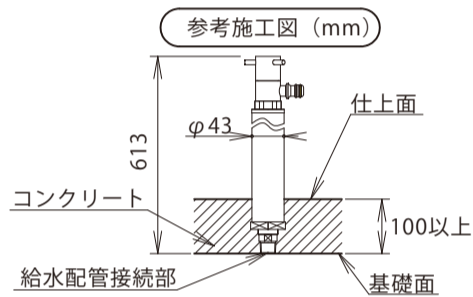
注意

- 修理技術者以外の方は、水栓柱本体内部を分解しないで下さい。故障や水漏れの原因になります。
- 凍結防止コマは凍結防止に一定の効果が見込めますが、凍結が予想される場合は、安全のため水抜栓の設置等の凍結防止措置を講じて下さい。破損のおそれがあります。
- 配管の深さは各自治体ごとに決まり(凍結深度)がございます。100mmより深い場合は指示に従って下さい。浅いと凍結による管破損などの可能性があります。
- 散水用です。飲用などの用途には使用できません。

施工手順

1 設置場所の確認

給水管の位置を確認する。

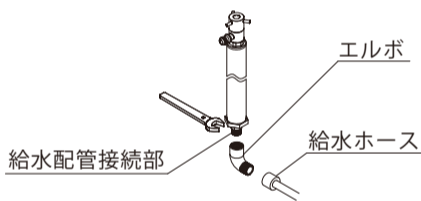


注意

- 水栓柱は住宅の基礎面上に設置して下さい。
- PC板などの十分強固な上に設置して下さい。
- 配管の深さは各自治体ごとに決まり(凍結深度)がございます。100mmより深い場合は指示に従って下さい。

2 水栓柱の取付け

水栓柱を所定の位置に立てかけ、給水管を接続する。



注意

- 取付け前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流して下さい。
- 接続の際は、給水管接続部がまわらないように、スパナ等の工具で掴んで接続して下さい。

3 通水点検

蛇口の施工後に、水が流れるか、止水できているかどうかを点検します。

- このとき、確実にフラッシングを行ってください。
 - フラッシング: 蛇口を全開し、約30~60秒間勢いよく通水を行ってください。
- 施工後数日~数ヶ月で、『水がでない、止まらない、ポタ漏れする』等のお問い合わせが頻発しております。
- その一番の原因は、フラッシング不足により『蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰ま

ご使用に関する安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

警告

- 小さいお子様だけの使用は、避けて下さい。やけど・けがをすることがあります。

注意

- 製品に強い力や衝撃を与えないで下さい。故障や水漏れの原因になります。
- 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないで下さい。器具が破損し、けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないで下さい。磨耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に吐水口部から微量の水がにじみ出るおそれがあります。
- 解氷機やアースを水栓に通電しないで下さい。水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 排水には十分にご注意ください。凍結防止ハンドル上部が働き、流れ出した水が地面で凍結し、すべて怪我をすることがあります。
- 冬期間は蛇口をホースにつないだままにしないでください。又、蛇口の下には、十分な空間を確保してください。ホースの中での凍結又は、蛇口吐水口での凍結で機能がはたせなくなるおそれがあります。
- 凍結防止コマは凍結防止に一定の効果が見込めますが、凍結による本体の破損や、その他の財産損害発生などは保障の対象外です。地域に適した確実な凍結防止策を講じて下さい。

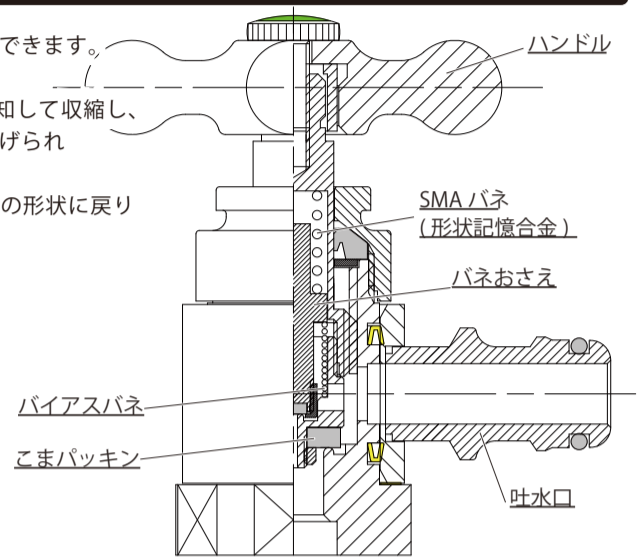
適切な使用条件

給水圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水	
作動温度	約2℃	
停止温度	約4.5℃以上	
作動時流量	450ml/min以上(0.05MPa時) ※1分間に牛乳瓶約2本分(400ml)の水を流すと凍結防止に効果的です。	
使用条件	<ul style="list-style-type: none"> ・外気温が-15℃以上であること。 ・蛇口周辺温度が4.5℃以上になること。 	

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧して下さい。

使用方法・各部の名前

- 平常時は普通の蛇口と同じ様に使用できます。止水の状態では周辺温度が下がるとSMAバネ(形状記憶合金)が温度を感知して収縮し、バネおさえがバイアスバネに押し上げられ自動的に水を漏らします。
- 水の温度が上昇するとSMAバネが元の形状に戻り自動的に水が止まります。



修理を依頼される前に

修理を依頼される前に以下のことをお調べになり、それでも直らないときは、お求めの取付店、販売店へ修理を依頼してください。

- 「蛇口を閉めても水が止まらない」
 - ・凍結防止のため一度開いた弁は、感知部の水温が4.5℃以上にならない時は水が止まらないことがあります。
 - ・コマパッキン部や漏れ口の穴にゴミが噛んでいると水が止まらなくなることがあります。
 その場合は上図を参考に、凍結防止上部を取外し、内部のゴミを取除いてください。
 - ・コマパッキン破損の場合は水が止まらなくなることがあります。市販のコマ用パッキンと交換してください。
- 「気温が下がっても水が漏れない」
 - ・漏れ口の穴にゴミが詰まっていると水が出なくなることがあります。
 凍結防止上部を取外し、内部のゴミを取除いてください。
 ※上記作業をする場合は、必ず元栓を閉めてください。

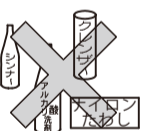
日頃のお手入れ

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取って下さい。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取って下さい。

注意

- 次のは使用しないで下さい。変色や傷みのおそれがあります。
 - 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
 - ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
 - クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
 - ナイロンたわしなど

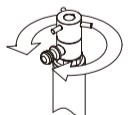


定期的な点検：稼働部の確認

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、工事店様に修理をご依頼下さい。吐水口の点検については下記を参照下さい。

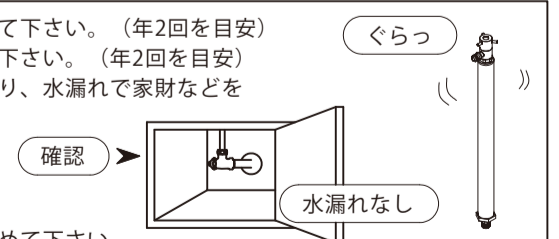
日頃から、ときどき吐水口を回して下さい。(月1回を目安)

吐水口を長期間回さずに使用すると水あかななどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。吐水口が回らなくなった場合は、工事店様に修理をご依頼下さい。



定期的な点検：配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認して下さい。(年2回を目安)
定期的に、器具のガタツキがないか確認して下さい。(年2回を目安)
劣化・磨耗などで部品が破損し、けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



水漏れを確認した場合は、配管中の元栓を閉めて下さい。